

第4回 国道357号社会実験推進協議会 議事要旨

日時：平成17年3月16日(水) 14:00~16:00

場所：千葉県自治会館 大ホール

出席者：日本大学名誉教授

千葉県商工会議所連合会事務局次長

市川市建設局道路交通部交通計画課長・習志野市都市整備部都市計画課長

(国交省) 関東地方整備局道路部道路計画第二課長・千葉国道事務所所長・

東京湾岸道路調査事務所所長・国土技術政策総合研究所道路研究室室長

(日本道路公団) 東京建設局建設第一部企画調査課長・東京管理局東局営業部営業企画課長、

東京管理局東局保全部交通技術課長・東京管理局千葉管理事務所所長

(千葉県) 県土整備部道路計画課課長、千葉地域整備センター所長、葛南地域整備センター次長

1. 第3回協議会の議事概要と資料公表について

- 1) 議事要旨の内容及び資料について特に異議なし。この資料を公表資料とする。

2. 社会実験のとりまとめについて

・有効な広報媒体について

- 1) 他地域の社会実験結果では横断幕やラジオによる認知度が高いが、本社会実験では立て看板の認知度が高いことが特徴的である。これは通過交通が多いことが要因として考えられる。
- 2) 広報に有効な媒体として立て看板が特に有効であったという結果は、社会実験に限らず今後の様々な場面での広報活動において参考となった。

・実験効果について

- 3) 実験中にリアルタイムで渋滞状況等の情報提供を行ってれば、より転換交通が増えたのではないと思われる。
- 4) 国道357号から東関道への転換交通量がもう少し多いのではないかと期待していた。
- 5) 実験区間を湾岸市川ICから湾岸千葉ICまでとするなど、より広げた方が目に見えて効果があったのではないかと考える。
- 6) 国道357号から東関道への転換が多くなかったのは、実験対象区間内に主な工場や商業施設が存在するため、実験対象地域内に用事のある車が多かったことが要因と考えられる。
- 7) 実験結果より、東関東自動車道と京葉道路は、それぞれ通過道路と生活道路とに使い分けられていると考える。東関道と京葉道路を結ぶ道路では交通量が減少しており周辺道路においては実験効果があったと思われる。

・利用者意識と今後の渋滞対策について

- 8) 道路利用者の意識において、料金割引以外の国道357号渋滞改善策として、習志野市住民の方のIC増設や交差点の立体化に対する意見が多いということは、非常に心強い。

- 9) 道路利用者の意識において、料金割引以外の国道 357 号渋滞改善策として IC 増設や交差点の立体化に対する意見が多くあるが、実際に IC 増設や交差点立体化の話を検討中であるので、住民の方の意見を反映した形を作れば良いと考える。

・料金割引について

- 10) 社会実験についての意見・問い合わせにおいて割引継続の要望が多いということであったが、一利用者として、この意見に賛同する。
- 11) 料金割引施策の継続については、高速道路の料金収入減収の観点からも検討する必要があることを認識してほしい。
- 12) 高速道路の料金割引については、地域と一体となって取り組み、高速道路の魅力のアピールの機会としての検討を望みたい。

・追加分析について

- 13) 広域的な利用者が多い場合には認知度が低下するとあるが、実験対象地域住民および広域的利用者それぞれの認知度を示した上で課題を明記した方が良いのではないか。
- 14) 首都高との連続利用はなぜ増加しなかったのか、補足説明をしてほしい。
- 15) 他地域の社会実験と違い本社会実験では、乗りやすさや料金の負担感などから東京行きと千葉行きでかなり事情が違っている。この違いを分析・整理する必要がある。
- 16) 大型車と普通車についてより詳細に分析をしなければ、ターゲットが見えてこない。

・資料の修正・確認について

- 17) 湾岸習志野 IC の ETC 出入交通量について実績値と比較すると、試算による値が大きめに見えるが、これについて値を精査する。
- 18) 実験実施による社会的効果において、便益の説明をもう少しわかりやすくした方が良い。

・社会実験の総括について

- 19) 道路利用者の意識において道路交通情報の提供という意見も少なからずあるため、渋滞状況等のリアルタイムの情報提供は、総括としても必要なのではないか。
- 20) 本社会実験は、ETC 限定であるということが他の地域にない特徴であるので、今回の結果を総じて、何か次の ETC の活用につながるものを提案してはどうか。

・今後の課題について

- 21) 湾岸市川 IC から湾岸習志野 IC への大型車の利用は減少しており、大型車や物流業者への影響は見られなかった。ETC 限定にした影響を含め、大型車の利用について課題を示す必要がある。

・その他

- 22) 本協議会における意見への対応は、事務局と委員長に一任ということでした承された。

3. 記者発表資料について

- 1) 記者発表資料についてご意見があれば3月22日(火)までに事務局へ連絡をいただく。

4. 報告書の作成について

- 1) 報告書の作成(目次案)について特に異議なし。本資料で了承された。

5. その他

- 1) JHによるETC時間帯割引が行われているので、若松交差点では事後調査も行っている。
- 2) ETCマイレージサービスのパンフレット設置の協力をお願い致します。(日本道路公団東京管理局千葉事務所より)
- 3) 今後、社会実験ホームページにおいて社会実験結果を報告する予定だが、閲覧期間を長くするため、3月31日以降は千葉国道事務所のサーバーに移転することについて了承された。

以上